

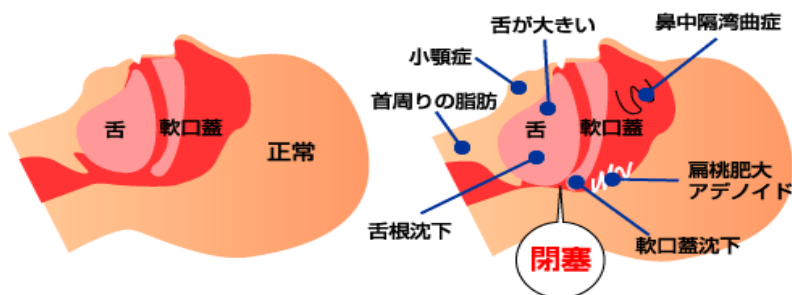
睡眠時無呼吸症候群 (SAS : Sleep Apnea Syndrome) をご存じですか？

どのような病気？

睡眠時無呼吸症候群（以下 SAS）とは、睡眠中に10秒以上の呼吸が停止、つまり無呼吸や低呼吸が1時間当たり5回以上繰り返され、いびきや昼間の眠気、熟睡感がない、集中力の低下、起床時の頭痛などの自覚症状を伴う疾患です。又、SASは生活習慣病と密接に関係しており、放置すると生命の危険に及ぶこともあります。SAS特有の眠気は交通事故などを起こす危険もあり、早期に適切な治療をすることが大切です。

SASの原因・症状

ほとんどのSASは上気道の閉塞による閉塞性睡眠時無呼吸症候群（OSAS）です。閉塞の原因は、首周りの脂肪沈着、扁桃腺肥大、アデノイド、気道に舌が落ち込む、鼻が曲がっている等があげられます。又、欧米人のSAS患者さんは肥満していることがほとんどですが、日本人の中にはあごが小さい（小顎症）ため気道がふさがれやすく、やせていてもSASの方もいます。



検査方法

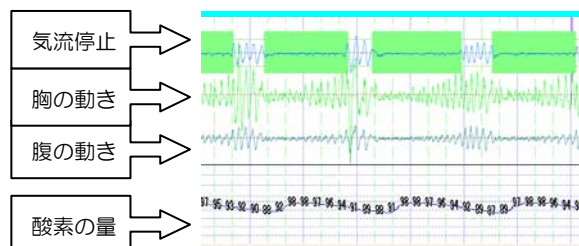
- *簡易検査：簡易検査機器を自宅に持ち帰り、装着してデータを取ります。
- *終夜睡眠ポリグラフ検査：入院をして、脳波・眼球運動・心電図・胸部や腹部の動き・口鼻からの気流・動脈中の酸素の量を記録します。



簡易検査



終夜睡眠ポリグラフ検査



実際の検査波

診断・治療

治療は原因や重症度などに応じ決定します。心当たりのある方は早期に専門施設を受診されることをお薦めします。当院では耳鼻科にて診断・治療を行っております。



CPAP（シーパップ）療法：鼻マスクから気道に空気を送り込み、気道の閉塞を防いで無呼吸をなくす治療法